

ラスベガスで開催された NAB 2017 での
AJA 最新リリース情報とアップデート
情報をご覧ください!

コンテンツ

新製品発表

- ・ Ki Pro Ultra Plus
- ・ KUMO CP2
- ・ 12GDA
- ・ 12GM
- ・ IPT-1G-SDI
- ・ IPT-1G-HDMI
- ・ FiDO マルチモード SFP

アップデート情報

- ・ KONA IP の JPEG 2000 ライセンスオプション
- ・ デスクトップソフトウェア v13、Linux 対応
- ・ HELO v1.1
- ・ RovoControl v3.0

テクノロジープレビュー

- ・ FS-HDR のテクノロジープレビュー

新製品の紹介

NAB 2017 で新たに製品が発表され、AJA 製品を使ったワークフローの更新と継続的な拡大を実現します。最大 4 チャンネルの HD 同時収録を実現する Ki Pro Ultra Plus や、KUMO 6464 を含む全ての KUMO ルーターで利用可能な KUMO CP2、新しい 12G-SDI ミニコンバーター、JPEG 2000 のワークフロー向け IP ミニコンバーター送信器、そして KONA IP の JPEG 2000 用ライセンスオプションなどが新たに発表されました。

AJA Control Room には、Linux 対応が追加されました。また RovoControl v3.0 では USB コントローラーに対応し、HELO v1.1 ではカレンダーを使ったスケジュール収録機能が追加されました。HDMI ミニコンバーターを含む幅広い製品で HDR 対応が展開されており、KONA 4、Io 4K、KONA IP では新たに Adobe Premiere CC 上での HLG (ハイブリッドログガンマ) 出力に対応しました。HDR 関連で最も注目を浴びたのは、1RU のフレームサイズで HDR から HDR、SDR から HDR、HDR から SDR へのリアルタイム変換を可能にする、Colorfront 社と提携して開発された FS-HDR の発表です。

Ki Pro Ultra Plus

マルチチャンネル HD レコーダー
4K/UltraHD/2K/HD レコーダー兼プレーヤー



Ki Pro Ultra Plus は、1、2、3 もしくは 4 チャンネルを同時に HD (最大 1080 50/60p) 収録可能で、4K/UltraHD ワークフロー向けにフル HDMI 2.0 (最大 12 ビットでキャプチャと出力) も用意されています。

Ki Pro Ultra Plus は、マルチチャンネルモードでのマルチカム HD 収録、シングルチャンネルモードでの 4K/UltraHD 収録とプレイバックを可能にする理想的な製品です。Ki Pro Ultra Plus は、コンパクトで操作も簡単なスタンドアローン型の 2RU ハーフラックサイズです。3G-SDI、HDMI 2.0、オプションの光ファイバー接続など、幅広い I/O への適合性と接続性を備えています。Ki Pro Ultra Plus は、4K/UltraHD と HD ビデオの画質を最大限に利用してキャプチャします。コーデックは、プロダクションで広く普及している Apple ProRes と Avid DNxHD MXF に対応しています。

Apple ProRes ファイルで HD を最大 4 チャンネル同時にレコーディングできます。また、チャンネル毎に圧縮プロファイルを個別に選択できます。収録メディアには堅牢な AJA Pak 1000 SSD を使用します。Ki Pro Ultra Plus には、Ki Protect 機能が備わっており、Pak (収録メディア) が予期せず取り外されたり、収録中に電源が落ちてしまった場合でも、収録された最新のフッターは常に安全に保たれます。キャプチャ中も 4 チャンネルすべてを Ki Pro Plus の LCD 画面に 4 分割で表示させ、モニタリングできます。また HDMI、SDI、さらにはブラウザベースのウェブ UI 上にも、キャプチャ中に 4 分割出力が可能です。



Ki Pro Ultra Plus の主な機能 :

- ・ 柔軟性の高い HD 収録オプション : 最大 1080 60p の 4 チャンネル HD 収録が可能、各チャンネルはそれぞれ独立して ProRes コーデックを選択可能
- ・ Apple ProRes または Avid DNxHD MXF で 4K/UltraHD/2K/HD 収録
- ・ HDMI 2.0 対応により、最大 4K/UltraHD 60fps で フル 4:2:2 / 4:4:4 のキャプチャと出力が可能
- ・ Apple ProRes 4444 と ProRes 4444 XQ のエンコーディング向けに 12 ビット入力をサポート
- ・ 電源が落ちてしまった場合でも、内蔵の Ki Protect 機能で収録内容を保護
- ・ 光ファイバー、3G-SDI、HDMI 2.0 を含む業務用ビデオ向けの接続性
- ・ SDI もしくは HDMI エンベデッド、AES/EBU、またはアナログのマルチチャンネルオーディオに対応
- ・ 一般的なウェブブラウザを経由し、ロケ現場やスタジオ内でリモート操作や設定、モニタリング可能
- ・ 多様な操作オプション : VTR ライクな物理的ボタンによるダイレクト操作、LAN または RS-422 経由での操作も可能
- ・ コンパクトな 2RU の高さ、ハーフラック幅のフォームファクタ
- ・ 信頼性が高い堅牢な AJA の Pak SSD メディアへ収録、オプションにより eSATA ストレージへの収録も可能
- ・ 3 年保証

<https://www.aja-jp.com/products/kipro/ki-pro-ultra-plus>

価格と販売時期

Ki Pro Ultra Plus は近日中に購入可能になる予定です。
日本国内の税抜定価は 563,000円です。

KUMO CP 2

すべての KUMO ルーター向けの 2RU コントロールパネル



AJA は、同社のコンパクトな SDI ルーター KUMO の全ラインナップを、プラグアンドプレイ方式で制御するハードウェアコントロールパネル KUMO CP2 を発表しました。放送環境に最適で、スタンドアロンまたは、ネットワーク経由で KUMO 6464、3232、1616、1604 を設定可能です。

KUMO CP2 は 80 個のボタンを搭載し、最大 4 台の KUMO ルーターそれぞれで、最大 64 系統のソースと 64 系統の送出先を設定可能です。設定はスタンドアロンモードまたは、任意のウェブブラウザからネットワーク越しにアクセスできる組み込みの GUI を使用して行います。この手頃な価格のコントロールパネルは、設置しやすい奥行きわずか 1.3 インチで、Shift キーを使わずに KUMO 1604、1616、3232 を操作可能です。また、他の KUMO 製品と同様に 5 年間の製品保証が設けられています。

<https://www.aja-jp.com/products/kumo/kumo-cp2>

価格と販売時期

KUMO CP2 は、近日中にご購入いただけるようになります。
日本国内の税抜定価は 126,000円です。

12GDA

12G/6G/3G/HD/SD-SDI 分配増幅器

12G はその広い帯域幅と配線の簡易性によって、急速に普及しています。12GDA はコンパクトな 1 入力 6 分配の 12G-SDI リクローキング分配増幅器です。このコンバーターを使うことで、配線と設置時間を削減することができます。4K/UltraHD シングルリンクのワークフロー向けに 12G-SDI にも対応し、フォーマットに縛られないデバイスとなっています。入力信号を 6 系統に分配し、バッファして SDI 出力することで入力信号とまったく同じ状態まで回復させます。また、12GDA は入力信号の自動検出、リクローキングとケーブルイコライゼーション、LED 信号検出インジケータを搭載しています。



12GDA の主な機能:

- ・ コンパクトな 12G-SDI 分配器
- ・ 12G/6G/3G/HD/SD-SDI 入力 (自動検出)
- ・ バッファされた 6 系統の出力

- ・ 12G ケーブルイコライゼーション (1694 同軸) 12 Gbps, 90m
- ・ 12 Gbps, 90m
- ・ 6 Gbps, 125m
- ・ 3 Gbps, 160m
- ・ 1.5 Gbps, 200m
- ・ 270 Mbps, 470m
- ・ アンシラリーデータはすべて通過
- ・ 電源アダプタ付属 (DWP-U-R1)
- ・ 5 年間保証

<https://www.aja-jp.com/products/mini-converters/14-infrastructure/911-12gda>

価格と販売時期

2017 年夏の発売を予定しています。日本国内の税抜定価は 70,000円です。

12GM

12G/6G/3G/SD-SDI と SDI 間で相互変換可能なマクサー / デマクサー

12GM はコンパクトな SDI 転送コンバーターで、12G-SDI から Quad 3G-SDI への変換と Quad 3G-SDI から 12G-SDI への変換が行えます。1.5G、3G、6G そして 12G ビットレートの 4K/UltraHD ワークフローに対応した、このマクサー / デマクサーは、マルチリンク SDI 信号からシングルリンク SDI 信号への変換とその逆方向の変換に対応します。

12GM の機能 :

- ・ コンパクトな 12G から 3G、3G から 12G 変換器
- ・ SMPTE 2082 入出力を SMPTE 425 入出力に設定可能
- ・ SMPTE 425M A と SMPTE 425M B 間での変換
- ・ 低ジッタの完全イコライジングおよびリクロック機能
- ・ 電源アダプタ付属 (DWP-U-R1)
- ・ 5 年間保証

www.aja.com/products/mini-converters/12gm

価格と販売時期

2017 年夏の発売を予定しています。
日本国内の税抜定価は 126,000円です。



IPT-1G-SDI and IPT-1G-HDMI

3G-SDI / HDMI から JPEG 2000 の IP ビデオ / オーディオ変換

IPT-1G-SDI と IPT-1G-HDMI コンバーターは、3G-SDI または HDMI ビデオ / オーディオから IP (VSF TR-01 に準拠した JPEG 2000) へのブリッジング(繋ぎ)となります。SDI または HDMI ベースのカメラ、ルーター、デジタルレコーダーやプレイヤーからのビデオインジェストに最適な伝送機器です。これらの製品を使用して IP に変換することで IPT-1G-SDI、IPT-1G-HDMI、KONA IP、または他の互換性のある JPEG 2000 機器を受信機にして、IP ネットワーク上で簡単に伝送が行えます。

IPT-1G-SDI の主な機能：

- 4:2:2 10-bits/pixel の 3G-SDI BNC 入力 × 1
- 3G-SDI BNC ループ出力 × 1
- 10/100/1000 Base-T Ethernet コントロール入力に対応する RJ-45 (IEC 60603-7) × 1
- VSF TR-01 およびその他の JPEG 2000 MPEG-2 ワークフローに対応
- 頑丈、ファンレスな設計
- 3G-SDI エンベデッドオーディオもしくは RCA アナログからオーディオ入力を選択可能
- フル 10-bit ピクセル処理パイプライン
- ネットワーク (LAN) 経由でコントロールおよびステータスを確認
- AJA eMini-Setup ソフトウェアにより素早いネットワーク設定が可能



IPT-1G-HDMI の主な機能：

- フルサイズの HDMI 1.4 ビデオ入力
- 10/100/1000 Base-T Ethernet メディア出力のための RJ-45 (IEC 60603-7) × 1
- VSF TR-01 およびその他の JPEG 2000 MPEG-2 ワークフローに対応
- 頑丈、ファンレス、ポータブルな設計
- フル 10-bit ピクセル処理パイプライン
- ネットワーク (LAN) 経由で制御およびステータス確認
- AJA eMini-Setup ソフトウェアにより素早いネットワーク設定が可能



<https://www.aja-jp.com/products/mini-converters/247-ip-miniconverter/909-ipt-1g-sdi>
<https://www.aja-jp.com/products/mini-converters/247-ip-miniconverter/908-ipt-1g-hdmi>

価格と販売時期

IPT-1G-SDI と IPT-1G-HDMI は、近日中にご購入いただける予定です。
日本国内の税抜定価は、どちらも 140,000円です。

FiDO マルチモード SFP オプション

光ファイバーミニコンバーター FiDO 向けの新しいマルチモードファイバー SFP オプション

従来の FiDO モデルには、シングルモードの光ファイバーに対応した SFP が組み込まれていましたが、新たにマルチモード SFP オプションが追加されました。マルチモードの光ファイバーケーブルを使用して最大 700m (OM4) または 300m (OM3) の転送を行うことが可能です。

マルチモードの応用：

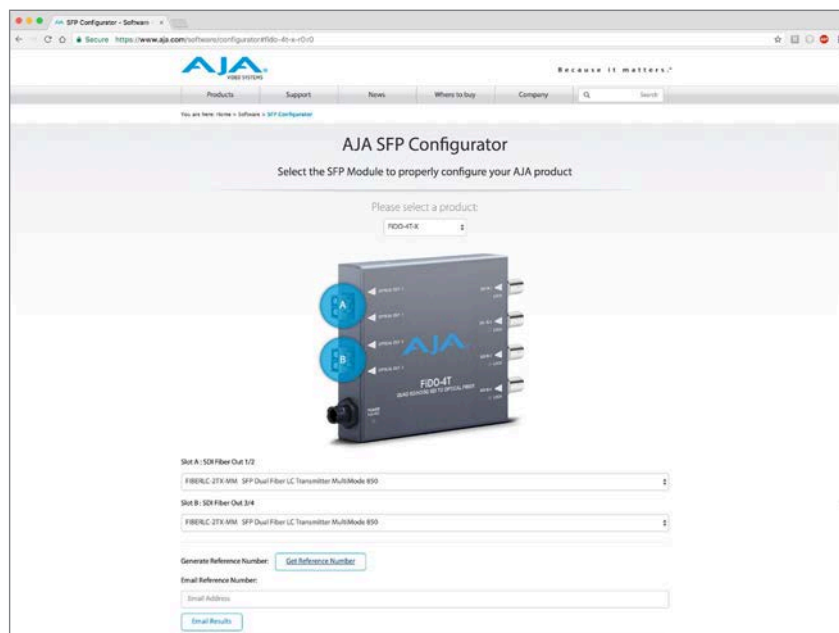
- ・ 既設設備の壁への埋め込みや柔軟なルーティング用にマルチモード光ファイバーケーブルを使用
- ・ ケーブルの柔軟性が欠かせないスタジオと中継トラック
- ・ マルチモードの導入が求められるプロ AV 環境

お買い求めの際には、FiDO モデル名とお使いになる Multi-Mode SFP もしくは CWDM SFP をセットにご注文ください。

- FiDO-R-X** シングルチャンネル LC Fiber → 3G-SDI
- FiDO-T-X** シングルチャンネル 3G-SDI → LC Fiber
- FiDO-TR-X** 3G-SDI / LC Fiber トランシーバー
- FiDO-2R-X** デュアルチャンネル LC Fiber → 3G-SDI
- FiDO-2T-X** デュアルチャンネル 3G-SDI → LC Fiber
- FiDO-4R-X** クアッドチャンネル LC Fiber → 3G-SDI
- FiDO-4T-X** クアッドチャンネル 3G-SDI → LC Fiber



注文時には AJA SFP Configurator を参照し、適した Multi-Mode SFP もしくは CWDM SFP を選択してください。AJA SFP Configurator はこちらでご確認いただけます。(英語) www.aja.com/config

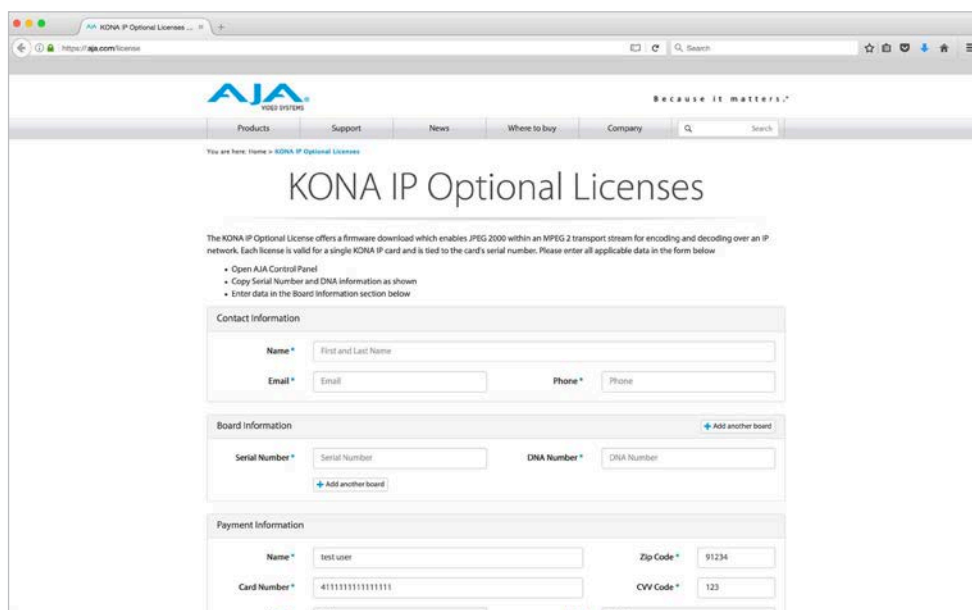


強力な製品アップデート

AJA は同社で最も人気の高い、最新テクノロジーを搭載したいくつかの製品を、NAB 2017 でよりパワフルにアップデートさせ、数多く発表できたことを誇りに思っています。

KONA IP : JPEG 2000 ライセンスオプション

NAB の AJA ブースと AIMS ブースでは、SMPTE 2110 の実演が行われました。



KONA IP は、ポストプロダクションや放送局の IP パイプラインを構築するために特別に設計された AJA 初の製品です。KONA IP は、AJA Control Room、Control Panel ソフトウェアや SDK ツール、Adobe Premiere Pro などの主要なコンテンツ制作アプリケーションと連携し、動作させることができます。業界で高い評価を得ている PCIe キャプチャカード、KONA シリーズの次世代の I / O は、これまで通りの信頼性とアプリケーションへの互換性を兼ね備えています。

柔軟なプラットフォームで設計された KONA IP は、今日の SMPTE 2022-6 IP カプセル化された非圧縮 3G-SDI、HD-SDI と SD-SDI ビデオ、オーディオや VANC データに対応しています。またデスクトップソフトウェア v13 には、新たに JPEG 2000 ライセンスオプションが加わり、IP 上での JPEG 2000 ワークフローのエンコードとデコードに対応します。

この新しいファームウェアライセンスオプションは、近日中に AJA のサポートページから直接ダウンロード購入できるようになります。これにより、MPEG 2-TS (トランスポートストリーム) 内の JPEG 2000 の HD ビデオをリアルタイムでエンコードやデコード可能となります。VSF TR-01 に対応する今回のアップデートにより、ネットワーク経由で他の JPEG 2000 システムや AJA の IP ミニコンバーターやデバイスとの相互互換性を確実にします。

新しい KONA IP の JPEG 2000 ファームウェアがサポートする 3 つの構造 :

- JPEG 2000 を同時に最大 2 系統出力
- JPEG 2000 を同時に最大 2 系統入力
- JPEG 2000 を同時に 1 系統入力しながら KONA IP が稼働しているシステムへ 1 系統出力

最新のデスクトップソフトウェア v13 がインストールされた KONA IP を 1 台で使用する場合は、追加のインストールは必要なく、従来の常識を覆す機能性をクリエイティブアプリケーションに提供します。対応するアプリケーションは、Adobe Premiere Pro, Apple FCP X, Avid Media Composer, 付属の AJA Control Room が含まれます。更にシビアな要件を JPEG 2000 ワークフローに求める SDK 開発者向けに KONA IP の 2 台構成にも対応しています。



KONA IP の主な機能 :

- SMPTE 2022-6 サポートにより、非圧縮ビデオとオーディオに対応
- SMPTE 2022-7 サポートにより、IP 信号伝送を確立するために KONA IP の 2 つの SFP+ ケーシングを利用した、信号の冗長化を提供します。放送需要に不可欠な SMPTE 2110 は今後のアップデートによりサポートします。
- ローカルモニタリング用の HDMI 出力
- 複数の IP ベースのカプセル化された 3G-SDI を読み込み、または送信するためのマルチチャンネル入力および出力。ビデオストリームはソフトウェアアプリケーション上から送受信されます。
- Video Over IP や 10GigE ネットワークとの容易なルーティングを可能にする 10GigE SFP x 2
- 代表的なサードパーティ製の NLE (ノンリニア編集)、コンポジットあるいはストリーミングアプリケーションに対応
- AJA Control Room と Control Panel ソフトウェアとの互換性
- 業界で広く採用されている AJA の NTV2 SDK を使用して、AJA 開発パートナーは簡単に統合可能
- 8 レーン PCIe 2.0 ビデオ&オーディオデスクトップ I/O カード

<https://www.aja-jp.com/products/kona/kona-ip>

価格と販売時期

KONA IP は国内定価 (税抜) 350,000 円で購入可能です。

KONA IP 向けの JPEG 2000 ライセンスは近日中に AJA のウェブサイトを通じてご購入いただける予定です。

国内価格と発売時期に関しては近日中に発表予定となっています。

NAB 2017 での SMPTE 2110 を使った KONA IP の実演 :

NAB 2017 で実演されたのは、間もなく公開予定の SMPTE 2110 に対応する KONA IP の新しいファームウェアです。最大 HD ラスターの SMPTE 2110 をサポートする KONA IP は、要素別に平行して行う作業をネットワーク化することで、ライブプロダクション業務に新たな柔軟性を提供します。放送に従事する人々は、オーディオ、ビデオとアンシラリーデータなどの要素を同時に制作することが可能となり、SDI のエンベッド/ディエンベッド化を必要とせず、また、遅延も減少します。NAB 2017 の AJA ブースでは、現在のバージョンと次にリリースされるバージョンの機能性についてご紹介しました。

HELO v.1.1

スケジュール収録/ストリーミングの他、多くの機能が追加された HELO v.1.1

AJA は、H.264 ストリーミング / エンコーディング / レコーディングが可能な多機能デバイス、HELO の新ファームウェア v1.1 を発表しました。今回のアップデートで新たに追加された HELO の機能により、ライブプロダクションのワークフローの枠をさらに広げ、簡素化します。



HELO v1.1 ソフトウェアの新機能：

- ・ あらかじめセットされたトリガーでメディアのレコーディングとストリーミングの開始 / 停止ができるスケジューラー。このスケジューラーは、HELO のウェブ UI を経由してローカルにプログラムされます。ICS ファイルをインポートするか、Google カレンダーなどの外部カレンダーとリンクして設定します。
- ・ 1 つのファイルを 2 つのメディアへ同時保存するリダンダントレコーディング
- ・ TS ファイルや長時間のイベント収録のために、最大 360 分の収録ファイル・セグメントサイズ
- ・ 最大 5 つの RTSP ストリームをサポート
- ・ REST API を利用した HELO の基本機能の自動化をサポート

<https://www.aja-jp.com/products/helo>

価格と販売時期

HELO v1.1 ファームウェアは、近日中に無料でダウンロード可能となります。

RovoControl v3.0

USB コントローラーをサポート、照準線 (十字) セレクターやその他の機能も追加されたソフトウェア RovoControl v3.0

MacOS® と Windows® の互換性を持つ RovoControl v3.0 は、RovoCam を完全に制御することのできる強力な無料ソフトウェアです。RovoRx-SDI、RovoRx-HDMI、Corvid HB-R など HDBaseT 対応の製品を RovoCam のエコシステム内で併せて使用することで、制御を可能にします。



RovoControl v3.0 新機能 :

- ・ USB コントローラーに対応、RovoControl の制御をゲームスタイルのコントローラーや USB ジョイスティックなどの USB インターフェイスにマッピング
- ・ より簡単にカメラを制御するために露出制御のインターフェイスを更新
- ・ カメラと ePTZ コントロール向けに改善されたプリセットインターフェイス
- ・ 設定のインポートとエクスポートに対応し、セットアップの共有と変更がより簡単に
- ・ 高解像度モニターで RovoControl ソフトウェアを使用した際に見える方を改善する高 DPI UI モード
- ・ スポット AE と スポットフォーカスの制御の精度を高める照準線セレクター
- ・ ズームスライダーのレスポンスを改善し、ズームの操作性を向上
- ・ RovoControl UI 内で基本設定の概要を素早く参照できる新しいサマリーライン

<https://www.aja-jp.com/products/rovocam>

RovoControl v3.0 ソフトウェアは近日中に公開予定です。
RovoCam ユーザーは無料でダウンロードできます。

デスクトップソフトウェア v13

ドライバとプラグインを統合



ビデオ & オーディオ I/O デバイス KONA、Io、T-TAP シリーズに対応するデスクトップソフトウェア v13 を、NAB で新たに発表しました。今回のアップデートにより、ハイブリッドログガンマ (HLG) と JPEG 2000 をサポートし、HDR と IP ワークフローを拡げます。HDR-10に加え、HLG のプレイアウトが Adobe Premiere Pro® 上で AJA KONA 4、Io 4K、KONA IP を使用して行えるようになりました。さらにデスクトップソフトウェア v13 では、KONA / Io シリーズ向けの付属ソフトウェア AJA Control Room に Linux の互換性が加わりました。その他にもいくつかの機能が改良されています。

デスクトップソフトウェア v13 の新機能：

- HDR ワークフロー向けに HLG の互換性を追加、Adobe Premiere Pro と KONA 4、KONA IP、もしくは Io 4K との組み合わせで HLG のプレイアウトが可能
- JPEG 2000 ワークフロー向けの KONA IP の新しいファームウェア・ライセンスオプション (KONA IP 用の JPEG 2000 ファームウェアは、AJA のウェブサイトより直接ご購入いただく、別売りのライセンスです。)
- Apple Final Cut Pro X と KONA 4、KONA IP、もしくは Io 4K との組み合わせで 12 ビット/ BT.2020 に対応
- 4K/UltraHD を KONA 4 や Io 4K でキャプチャ中にパススルーしてモニターに表示する際、あるいは 2 台目のワークステーションで HD ベースのオフライン編集する際に役立つ 4K/UltraHD ダウンコンバート機能
- Avid Media Composer と KONA IP、KONA 4 もしくは Io 4K との組み合わせで 48p をサポート
- 付属の無料ソフトウェア AJA Control Room もしくは Adobe Premiere Pro、Apple FCP X と KONA IP、KONA 4 もしくは Io 4K との組み合わせで 12 ビット ProRes 4444 XQ のプレイバックに対応



AJA Control Room ソフトウェア新機能 :

- KONA / io 製品向けの Linux 対応
- KONA / io 製品向けのタイムコード/クローズドキャプション出力時に有効な「Burn-in」オプション
- KONA / io 製品を使用して、QuickTime ファイル内のオーディオトラックからチャンネルを選択して出力 / モニター
- KONA / io 用にデッキのプリロール時間を最大 30 秒まで拡大

デスクトップソフトウェア v13 の無料ダウンロードは AJA のウェブサイトから行えます。 www.aja.com/support :
AJA のデスクトップ製品についてのより詳しい情報は、こちらのサイトでご確認ください。

<https://www.aja-jp.com/products/kona>

<https://www.aja-jp.com/products/io>

<https://www.aja-jp.com/products/t-tap>

FS-HDR Tech Preview

FS-HDR

Colorfront Engine™ ビデオ処理による HDR / WCG リアルタイム変換



AJA は、革新的な HDR ワークフロー変換能力を実現する新製品 FS-HDR の実演を NAB 2017 にて行いました。AJA のフラッグシップ製品 FS4 を基に開発され、アカデミー賞やエミー賞の受賞歴のある開発会社 Colorfront の最新 HDR 技術が盛り込まれています。FS-HDR は HDR と Wide Color Gamut (WCG : 広色域) 処理に対応し、リアルタイムで 4K/UHD や 2K/HD へ変換するワークフローを実現します。

FS-HDR は 1RU ラックマウント型の万能なコンバーター&フレームシンクロナイザーで、リアルタイムの低遅延処理、忠実なカラー、メタデータ処理が最重要視される放送、OTT、ポストプロダクション、ライブイベント AV 環境に必要とされる HDR/WCG に特化した設計となっています。

FS-HDR の HDR/WCG 制御機能は Colorfront Engine™ の映像・カラー空間処理アルゴリズムを利用しています。Colorfront Engine™ は Colorfront 社から AJA へ特別にライセンスが提供されており、Colorfront の CTO Bill Feighter 氏と主任技術者 Tamas Perlaki 氏によって開発されました。両氏は共にアカデミー賞を受賞しています。

Colorfront Engine で動作する FS-HDR の広範囲に渡る HDR と WCG 処理能力は、HDR 変換を含んだ 4K/ UltraHD と 2K/HD のリアルタイム処理、4K/Ultra HD HDR から HD HDR へのダウンコンバージョンも可能です。FS-HDRは、いくつかの主要なカメラフォーマットを放送用の HDRフォーマットにリアルタイムで変換することも可能です。さらに、必要に応じて BT.2020/BT.709 間の相互変換を行うことも可能です。放送や OTT ワークフローに不可欠な広範囲の HDR と SDR のいずれにも対応します。

FS-HDR の主な機能 :

- BT.2020 から BT.709 への色域変換を含む HDR から HDR、HDR から SDR、SDR から HDR へのリアルタイム変換

入力フォーマット :

- SDR BT.709 100 Nits
- PQ BT.2020 1000 Nits
- PQ P3D65 1000 Nits
- Hybrid Log Gamma BT.2100s
- Sony® S-Gamut3/SLog-3
- ARRI® Log C Wide Gamut
- Panasonic V-Log
- RED® Log3G10 Wide Gamut
- Canon Log 2

出力フォーマット :

- SDR BT.709 100 Nits
- PQ BT.2020 1000 Nits
- Hybrid Log Gamma BT.2100

選択可能な 2 種類のモード :

シングルチャンネルモード : 4K/UltraHD もしくは 2K/HD のリアルタイム HDR 変換と、フレームシンク機能

4 チャンネルモード : 独立した 2K/HD/SD チャンネルを同時にラスター変換 & フレームシンク

- BT.2020 から BT.709 への色域変換を含む HDR から HDR、HDR から SDR、SDR から HDR へのリアルタイム変換
- 4K/UltraHD/2K/HD/SD アップ、ダウン、クロスコンバージョン
- SDI とオプションで選択可能な Fiber 経由で Quad 1.5G、Dual 3G、Quad 3G、6G、12G を含む 4K/UltraHD に対応する多彩な I/O オプション
- 多様な 4K/UltraHD デバイス との互換性を持つ SMPTE 2SI 入出力をサポート
- 4 チャンネル 2K/HD/SD ビデオ処理とコンバージョン
- 4K/UltraHD/2K/HD/SD アップ、ダウン、クロスコンバージョン.
- SD/SD アスペクト比変換
- HD/HD クロスコンバージョン (720p / 1080i)
- 1RU のフォームファクタ、冗長化された 2 倍の電力供給
- 272 x 208 マトリックスを備えたオーディオ I/O : AES、MADI、エンベデッド SDI オーディオから個別にオーディオを受け入れられる柔軟な機構で、各オーディオ入力に対しサンプルレート変換も可能
- シンプルな操作性、メニュー構造の再設計、フロントパネルのボタンから各機能へクイックアクセス、更に LAN もしくはインターネット経由でウェブベースの UI からリモート制御

<https://www.aja-jp.com/products/fs/fs-hdr>

HDR テクノロジーや AJA の HDR ソリューションについてのさらに詳しい情報は、
こちらのサイトでご確認ください。